



2012年5月24日

報道関係各位

楽天株式会社

楽天、マレーシアにおいてEC事業参入

楽天株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼社長：三木谷 浩史、以下 楽天）は、このたびマレーシアにおいて、Rakuten Malaysia Sdn.Bhd.（President & CEO：上野 昌哉）を設立し、同国でEC事業に参入するはこびとなりましたので、お知らせします。

Rakuten Malaysia Sdn.Bhd.が運営母体となり、日本の「楽天市場」と同様のB2B2C型のインターネット・ショッピングモール「Rakuten Online Shopping」（読み：ラクテン オンライン ショッピング）を今年後半を目処に開業する予定です。今後、マレーシア国内において出店店舗の募集を開始するとともに、サービス開始に向けて各種準備を本格的に進めてまいります。

マレーシアは、安定した経済成長率（2011年実質GDP成長率5.1%：マレーシア統計局）を誇り、人口約2,840万人のうち約1,700万人のインターネット利用者（Euromonitor International：2011年調査）を擁し、EC分野においても非常に高い成長が見込まれております。また、物流や電子決済といったEC事業のためのインフラも整備されています。

「Rakuten Online Shopping」では、当初は大手小売等の店舗を中心に、ファッション、デジタル・電機機器、書籍、高級品などの多種多様な店舗・商材を提供していく予定です。中長期的には、日本の「楽天市場」をはじめ、アジア、欧州、北米、南米の各国・地域における楽天グループ傘下のECサイトとの連携も検討しています。

今回のマレーシア市場への参入により、東南アジア地域におけるEC事業では、2009年のタイ（TATRAD.com）、2011年のインドネシア（Rakuten Belanja Online）に続き、3番目の展開となります。マレーシアでの開業に向けて、日本の楽天市場で蓄積してきた出店店舗と消費者が直接コミュニケーションできる仕組みや、世界各国への展開で培ってきた運営ノウハウやテクノロジーを注入するとともに、楽しくお買い物をしてもらえるように、ユニークで幅広い商材を取り揃えてまいります。

楽天は、「Rakuten Online Shopping」を通じて、マレーシアの消費者に安心して便利で楽しい新たなショッピング体験を提供するとともに、インターネットの力で出店店舗をエンパワーメントし、マレーシア経済の活性化に貢献してまいります。

以上